

会員の著作紹介

エンジニアのための
英文超克服テキスト
平井通宏 著

A5版・284頁
価格：2,592円（2,400円＋税）
オーム社
2015年4月発行



従来の英語教育は、「英語」という外国語を数学や化学などと同列の一つの独立した科目として扱っていましたが、その結果として、専門性の低い一般的なことからを題材にした教材を使って、科学・技術的知見に乏しいいわゆる文系の教師が教える、という構造的な問題を抱え、大多数の科学・技術者が、専門分野で実際に使われている英語に親しまないまま実社会に出て行き、実務の現場で苦勞する、という弊害がありました。この問題の対策として最近、科目内容を直接英語で教え・学ぶという、内容言語統合型学習（CLIL：Content and language integrated learning）の動きが世界的に関心を集めています。

こうしたCLILの流れの一環として筆者は2011年2月に、日本人ICT技術者の英文読解能力向上を目的として、ジャパントイムズ社から「速く正確に読むITエンジニアの英語」を上梓しました。この本は月刊『技術士』2011年12月号の「会員の著作紹介」でも紹介させて戴きましたように、理工系大学の科学・技術英語担当教師として得た知見と、大型コンピュータ処理装置の開発・輸出に三十有余年携わった実務経験とを基に、日本人の英文読解上の問題点を、豊富な生素材（さまざまな雑誌や書籍掲載の記事）を題材にしながら英語構文・文法面から診断・解説したものです。

今回紹介させて戴く「エンジニアのための英文超克服テキスト」は、増刷対象外となった旧著「速く正確に読むITエンジニアの英語」の改訂増補版として別の出版社から出版するもので、基礎編（構文から見た日本人弱点の診断）は8割程度そのまま踏襲し、応用編（生素材およびその解説）を全面的に新しい記事（例：ビットコイン、ビッグデータ）で入れ替えて構成されています。

平井 通宏（ひらい みちひろ）
技術士（情報工学部門）

（有）平井ランゲージ・サービス
e-mail：mjhirai@beige.ocn.ne.jp



自然災害から人命を守るための
防災教育マニュアル
柴山元彦・戟 忠希 著

A5判・176頁
価格：1,620円（1,500円＋税）
創元社
2015年4月発行



日本列島は、美しく豊かな自然に恵まれているため、その自然を楽しみたいと世界中から多くの人が観光に訪れています。しかし、その一方で、火山活動や地震活動が多い国としても知られています。近年では、台風や低気圧による降雨や強風による被害は、全世界的な気候変動の影響も受け、毎年大きなものとなっています。

被害を最小にするためには、災害をもたらす自然現象を子供から大人までが理解し、常にそれに備えておけるようにしていくことが重要です。つまり、災害への対処的な説明・マニュアルだけではなく、防災教育の充実が望まれます。

本書では、自然災害として、地震災害、津波災害、土砂災害、火山災害、風災害、水害の6つを取り上げ、それぞれの現象の仕組みや災害から身を守るためにどのような準備が必要かについて解説しています。

防災教育は、非常時に備えるだけの特別な訓練や教育だけにとどまってはなりません。災害時には想定外のことが必ず起きるものです。そのため、それを乗り越える思考力や判断力が必要になります。このような力は、理科教育における自然観の育成と同じ順序で育成されます。

本書では、このことを考慮して、災害ごとに第1節では災害の恐ろしさを実感的に知ってもらい、第2節ではその現象を実験や実体験できるように、施設などの情報を提供し、第3節では災害がどのようにして起きるかを理解してもらい、第4節では災害から身を守るための方法について解説しています。

戟 忠希（ほこ ただき）
技術士（応用理学／総合技術監理部門）

（株）HOKOネットワーク
代表取締役
e-mail：t.hoko@jck-net.org

